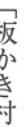
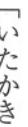
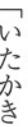
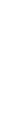
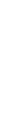
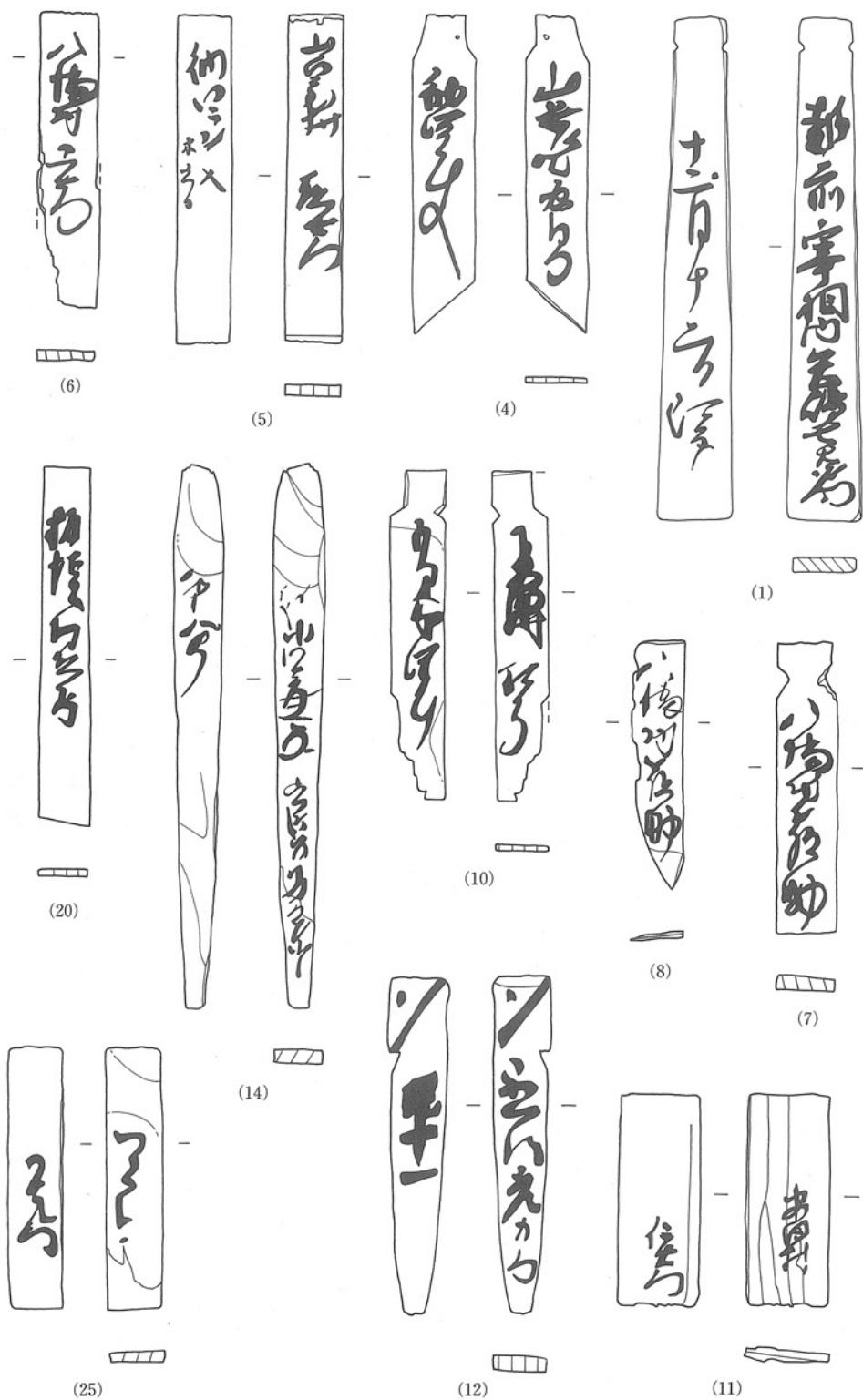


1	所在地	福井市大手一丁目	(4)	・「▽。山室村 忠左衛門」
2	調査期間	一九九六年(平8)九月～一九九八年九月	(5)	・「▽。納四斗入
3	発掘機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センタ-	(6)	・「山室村 □右衛門」
4	調査担当者	本多達哉・河村健史・國重佐夜子	(7)	・「納四斗入 □□□□□」
5	遺跡の種類	城郭跡(武家屋敷地)	(8)	・「十カ廿六日カ」
6	遺跡の年代	弥生時代中期～十三世紀、一六世紀末～江戸時代	(9)	・「八幡村 二右衛門」
7	木簡の釈文・内容	出土木簡の総計一〇〇点余のうち、本誌第一〇号には五一点を報告したが、今回は、その後に整理が済んだ木簡五六点を紹介する。	(10)	・「八幡村 救助」
	土坑八〇一		(11)	・「▽□□村」
(1)			(12)	・「▽□□」
(2)	・「▽越前宰相内矢嶋七右衛門」	276×41×8 032		・「▽下安田村 仁右衛門」
(3)	・「▽十一月十三日 江戸」			・「▽もち米 四斗入」
	・「▽。山室村			118×20×3 032
	・「▽。仁右衛門」			92×16×2 031
	・「▽(記号) □□□」			118×20×3 033
	・「▽(記号) 四十一」			122×21×5 033
(13)	・「▽た」			95×15×3 032

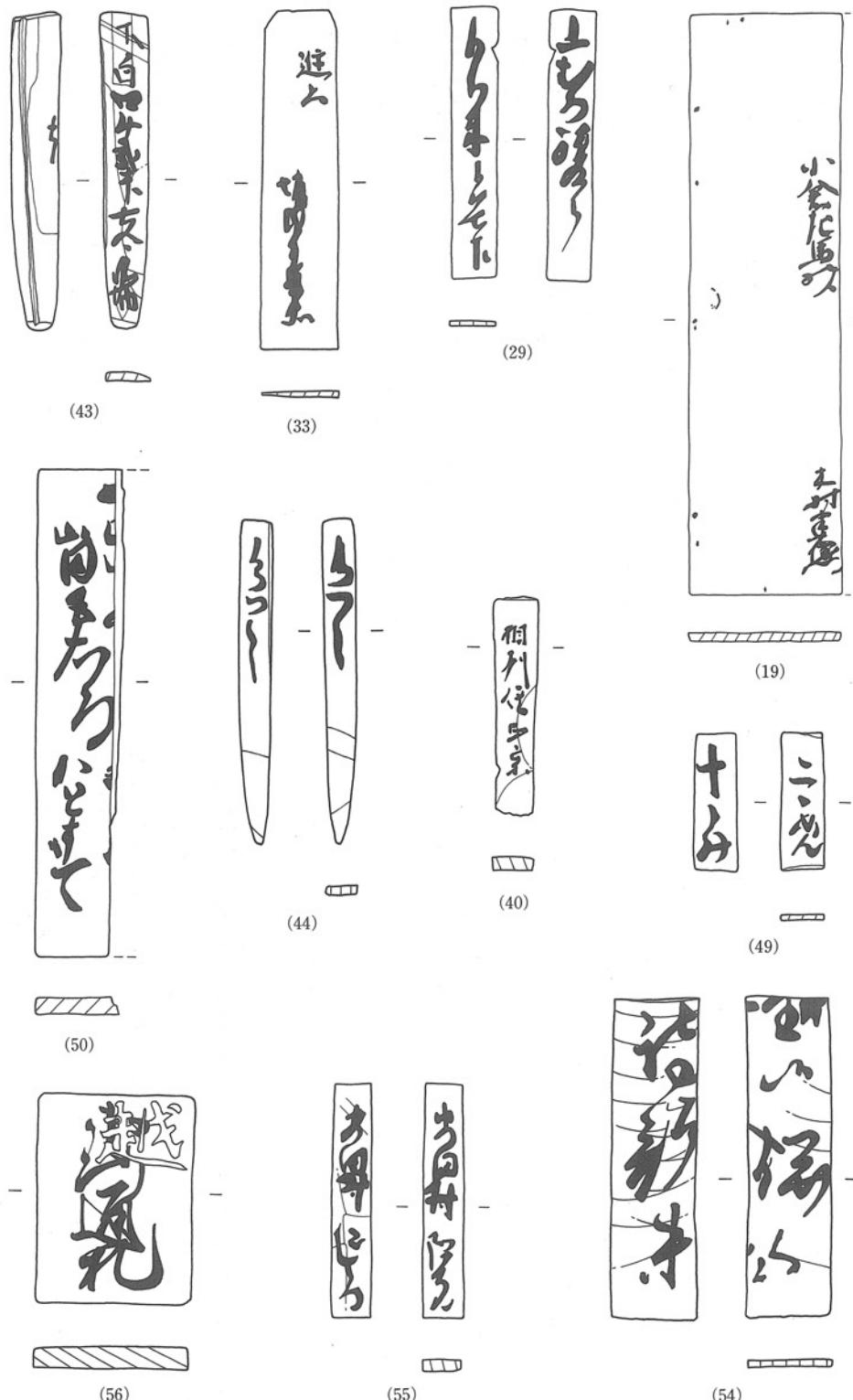
(14)	・「     」	198×18×5 051	・「  右衛門」	95×20×4 011
(15)	・「     」	86×23×6 011	「     」	53×14×3 011
(16)	・「     」	113×21×3 032	・「     」	101×22×2 011
(17)	「大汁」	114×20×3 011	・「     」	83×18×3 011
(18)	「     」	53×19×3 011	・「     」	317×(81)×5 065
(19)	「小倉左馬様 木村半右衛門」	97×17×2 032	・「     」	129×19×3 011
(20)	「板垣村  右衛門」	100×15×3 032	・「     」	84×14×5 011
(21)	「板かき 源右衛門」	105×16×3 011	・「     」	84×14×3 011
(22)	「板かき村 才一」	88×23×3 011	・「     」	88×16×4 011
(23)	「いたかき 忠右衛門」	88×23×3 011	・「     」	80×24×5 011
(24)	「いたかき 源右衛門」	121×28×2 011	・「     」	121×28×2 011
(25)	・「     」	198×18×5 051	・「  右衛門」	95×20×4 011
(26)	「     」	86×23×6 011	「     」	53×14×3 011
(27)	・「     」	113×21×3 032	・「     」	101×22×2 011
(28)	・「     」	53×19×3 011	・「     」	83×18×3 011
(29)	・「     」	97×17×2 032	・「     」	129×19×3 011
(30)	・「     」	88×23×3 011	・「     」	88×16×4 011
(31)	・「     」	88×23×3 011	・「     」	88×16×4 011
(32)	・「     」	88×23×3 011	・「     」	88×16×4 011
(33)	・「     」	88×23×3 011	・「     」	88×16×4 011

### 釈文の訂正と追加

(34)	「下筋生田板垣下安田村	(133)×20×3 019	(43)	・「下田四斗武升六合□□□」
(35)	・○筋生田村	(106)×23×4 019	(44)	・「□□□」
(36)	・○又左衛門	(109)×26×3 019	(45)	・「色々」
(37)	末村□左衛門」	121×25×3 011	(46)	・「色々」
(38)	「ハラヰ」	(113)×24×3 039	(47)	・「色々」
(39)	□	(130)×21×3 081	(48)	・「色々」
(40)	「相州住正宗」	78×16×5 011	(49)	・「色々」
(41)	やく	(181)×(76)×3 065	(50)	・「色々」
(42)	溝一	101×13×3 051	(51)	・「色々」
(43)	・□□□	98×13×5 051	(52)	・「色々」
(44)	・□□□	116×12×3 051	(53)	・「色々」
(45)	・□□□	114×18×3 051	(54)	・「色々」
(46)	・□□□	98×11×2 051	(55)	・「色々」
(47)	・□□□	49×16×2 011	(56)	・「十升」
(48)	・□□□		(57)	・「十升」
(49)	・「一升」		(58)	・「一升」
(50)	・「十升」		(59)	・「十升」



釈文の訂正と追加



土坑100

(50) 「山田平右衛門 いとやで」

177×(31)×6 065

土坑八二五

土坑八二七

(51) • 



土坑八二八

(52) 「」



土坑八二九

(53) 



(54) (121)×29×3 019

• 



• 



(80)×16×5 039

谷部

(55) • 「安田村 仁右衛門」

• 「安田村 仁右衛門」

84×15×4 011

56 「(焼印)  
越  
御門通札」

75×55×8 061

なお积文は、福井県立博物館の笠松雅弘氏・山県裕之氏、福井県文書学事課の吉田健氏の「」教示を得た。

## 8 関係文献

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター「福井城跡現地説明会資料」(一九九七年)  
同「第一三回発掘調査報告会資料」(一九九八年)

(本多達哉・河村健史)